



教育目標 誰一人取り残さない 子供が育つ学校づくり

自己決定し挑戦する場としての持久走記録会

校長 白田 敏幸

持久走記録会(または大会)。本校に限らず、あちこちの小学校でずっと続いている行事の一つである。

行事のねらいとしては、

- ①持久走記録会に向けて教科体育や朝活動で取り組むことで体力向上を図る。
- ②持久力の向上で集中力が高まり、運動面だけではなく学習面への効果も期待できる。
- ③自分の体力レベルに合った、目標や課題が設定でき運動する楽しさを味わうことができる。
- ④自分の目標に向かって精いっぱい努力する。

等が挙げられる。本校においても上記のようなねらいのもと実施してきた。

私自身、小学校6年生の時の身長が140cm、体重が60kgほどであり、決して、持久走が得意な体型ではなかった。だから、持久走大会が本当に嫌で仕方がなかった。おそらく、私だけでなく、小学生の頃そう思っていた子供は少なからずいたはずである。最近では、持久走大会があるために、登校が億劫になってしまう子供がでてしまう実態もある。昔のような「根性論」だけでは、通用しなくなってきていると感じていた。

本校の教育目標である「誰一人取り残さない」ことの実現や、3つの資質能力「自分で考え行動する力」「人を大切にできる力」「考え抜く力(挑む力)」を育てていくために、今年度、持久走記録会のあり方を変えた。これまで、校内記録があることも影響して、学年や性別により走る距離が決められていた。「その学年だからその距離は適正である」という大人が勝手に決めたルールのもとに行われてきたのである。「同じ年月を生きたのであれば、その体力がつかはずであり、ついていなくてはいけない。」まったくもって、現代の、または、これからの社会の流れとはずれているのではないだろうか。

そこで、走る距離に幅をもたせ、自己決定させるようにしてみた。目指すところは、「自分で自分に合った距離(目標)を決め、持久走記録会を自分事として捉え、目標に向かって取り組む」ことである。初めは、職員間でも「簡単な方(距離を短縮する)に流れるのではないか?」「子供の間で、『短い距離を走るなんてずるい』という声が出るのではないか?」等、様々な不安があった。しかし、子供たちに丁寧に説明したことで、安易に距離を短縮したりお互いをけなし合ったりする声が聞かれることはなかった。むしろ、さんざん悩んだ結果、これまでの標準とされた距離を走ることを自己決定したり、標準の距離よりもその上の距離を選択し、挑戦したりする子供がでてきた。

記録会当日、そこには、一人一人が自分の目標に向かって精いっぱい頑張る子供の姿があった。走り終えた表情は、身体中に流れる汗と共にキラキラしていた。保護者や地域の方々の声援も大変ありがたかった。

自己決定することは教育現場で大切にされてきているが、本当の意味での自己決定する場は、まだまだ少ないと感じている。子供一人一人、誰もが成長したいと望んでおり、また、その力をもっているということを我々大人は心から信じて、意味のある自己決定の場を数多く設けていく必要があるのではないだろうか。



職業体験学習 ～自衛隊・製菓業～

「様々な職業の方から仕事についての話をお聞きしたり、実際に体験したりすることを通して、学ぶことや働くことの意義を理解するとともに、一人一人のキャリア形成につなげる」というねらいのもと、9月30日(月)に職業体験学習を実施しました。講師としてお招きしたのは、自衛隊山形地方協力本部 東根地域事務所より、工藤潤也様・菅野翔様と、河北町にあるお菓子屋「パティスリー デ・ジョワ」より武田大介様の3名です。全児童を2班に分け講話をお伺いしたり、職業に関わることを実際に体験したりしました。子供たちが興味をもてるような話や体験を準備してくださったことで、楽しみながら学ぶことができました。

11月も職業体験学習(消防士 酪農・飲食業)を予定しております。



3・4年生 山形市見学

10月18日(金)に社会科の学習として、山形市見学に行ってきました。見学場所としては、「山形市防災センター」「産業科学館」の2か所です。(昼食は霞城セントラル内でとりました。)

山形市防災センターでは、防災に関することを実際に体験してきました。産業科学館では、科学のすばらしさや面白さに触れることができました。



火事ですか?救急ですか?



阪神淡路大震災の揺れを実際に体験してきました。



救急車の中も見せていただきました。

おもちゃ祭り ~1・2年生 生活科の学習~

1・2年生が生活科の学習で、ペットボトルやトイレットペーパーの芯等の廃材を利用して「おもちゃづくり」をしました。射的や魚釣り、けん玉など、一人一人が考えて、また、仲間と協力して作りました。学習のまとめとして遊んだ後に、「おもちゃまつり」として全校児童を招待しました。20分ほどの休み時間に行いましたが、上学年の子供たちも楽しむことができました。1・2年生は、自分たちが準備したおもちゃで喜んでもらえたことで大きな満足感を味わうことができました。また、保護者の方からも参加いただけたことで、とても楽しい時間になりました。



地層見学 6年生 理科の学習

理科の学習で、朝日町に地層見学に行ってきました。地層が非常にきれいに見える場所で、全国版の理科の教科書にも写真が掲載されています。地層のでき方や自然の力の大きさを感じ取ることができました。お土産として、木の化石をいただきました。



おめでとう!

第20回べに花の里こども俳句大会

佳作 6年 堀米 愛 さん

「風祭り 夜までたたく 大だいこ」





トライアングルコーナー

3年生 学年行事 ～二分の一成人式～

9月28日、上沢畑公民館にて3年生の学年行事「二分の一成人式」を開催しました。

式に先立ち、村山市の「民泊工房 FUu～」から大山英由美先生をお招きして、二分の一成人の記念として七宝焼のピンバッジ作りを行いました。様々な色の釉薬を銅板に思い思いに載せて、世界に一つだけの七宝焼に。制作過程の真剣な眼差しは、学校の授業の際に見られるものと、もしかしたら一味違ったものだったかもしれません。式では、お父さん、お母さんの服を着て、将来の夢を発表しました。大人になるまで、様々な困難や紆余曲折があり、思い描いている夢が実現するかどうか分かりません。でも、今の素直な気持ちをいつまでも大事にしてほしいと思います。お父さん、お母さんは、いつも全力で応援してるからね。

(3学年委員長 阿部洋平)



4年生 学年行事 ～リナワールド～

9月27日(日)、4学年の学年行事として4家族合計15名でリナワールドに行ってきました。「次あれ乗ろう!」「もう1回行きたい!」と大はしゃぎの子供たち。特にジェットコースターと巨大迷路にはまって何回も行きました。これまで苦手だった乗り物やお化け屋敷にも、友達と一緒に挑戦することができて楽しみも倍になったようです。はじめは各々が自分の行きたい所に行くのではぐれてしまうこともありましたが、最後のほうはみんなどこに行くか相談して決める姿が見られました。何事にも挑戦することや、自分だけでなく周りの状況を見て行動しようとする様子に成長が感じられました。閉園ぎりぎりまで元気いっぱい遊んだ後はみんなで外食をし、お肉をモリモリ食べて大満足の日でした。4学年保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

(4学年委員長 林 末広)

